

## 特集

「つまらない」授業よ、  
さらば！

看護の授業を「おもしろくする」には？ 五十嵐ゆかり  
 授業をプレゼンするのに必要なもの 内藤知佐子  
 ヘタな授業は罪！ 伝え方を再考する 筒井美紀  
 授業づくりをエンタテインメントに 藤川大祐  
 【対談】おもしろい授業をするためのさまざまなスキル  
 三浦真琴×水方智子

## 【特別記事】

「つまらない」講義を、私は続ける！ 沼崎一郎

## 【連載】

- 授業研究で変わる！授業研究で変える！・6 吉崎静夫／蔵谷範子
- 宮子あずさのエキサイティング Writing・6 宮子あずさ
- 看護学生 縦のいと、横のいと・6(最終回) 木村映里
- 卒業前の看護実践能力育成への取り組み 愛知県立大学看護学部  
「看護の統合と実践」検討プロジェクト・10 藤野あゆみ
- “医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・14  
斉藤奈緒美／石川雅彦
- 看護はやっぱり面白い!? ——アラフォー女子大生の「看護」探求の  
日々・30(最終回) 片山紀子

## 編集後記

● 事前課題と聞いて思い出したのは、小4のときの担任から出されていた予習のための宿題でした。その先生からは復習の宿題を出された記憶はなく、「明日は交通の話をするから、家に車がある人は、運転で何に気を付けているか聞いて、ノートに書いておくように」というような、まさに自分で調べて授業に臨むための準備が指示されていました。授業では調べてきたことを発表したり、話し合ったりしたので、半世紀前にすでに反転授業がされていたといえます。● 「宿題」は、みんなでできればやりたくないもの。けれども、それが次の授業にどうつながるか、そしてやらないと授業がおもしろくないということがわかっていれば、たいていの場合はやってくるのではないのでしょうか？  
いくつになっても、学びは好奇心から生まれるということをふまえて、事前課題をつくってほしいと思います。……大野

● ちょっと気持ち悪い話で恐縮ですが、先日、新幹線車中で通例通り缶ビールをぐびぐびと飲んでいたところ、2つお隣の方の手に何やら見覚えのある本が。よく見れば弊社書籍「看護学教育における授業展開」ではありませんか。もう夜も10時を超えています。こんな時間にマーカーまで引きつつ、とても懸命なご様子で熟読されていました。よっぽど特異な人でない限り、ほぼ間違いなく看護の先生です。この偶然は絶好の機会と、名乗ってお話を聞いてみようか少しびん悩みましたが、間にも人がいらっしまったし、素面の方に酔っ払って話しかけるのは失礼かと思い、黙ってその真剣な眼差しをじっと見つめていました。ちょっと見過ぎたかもしれません。いえ、実際に見過ぎました。あの時の先生、その節は失礼しました。異動して1年、頑張ろう、と身の引き締まった夜の新幹線でした。……番匠

◎編集室ツイッター

http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第56巻 第5号 2015年5月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2015年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、冊子＋電子版／共有20,880円、電子版／個人15,540円、電子版／共有17,880円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

## 【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/15/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

## 『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円＋税  
年間購読 好評受付中！  
電子版もお選びいただけます。

Vol.56 No.4

2015 年 4 月  
特集

## 本当に伸ばすための コミュニケーション教育

「コミュニケーション能力」。企業でも病院でも学校でも、人と人が触れ合う場面ではどこでも、現代の日本社会で声高に重要視されている能力です。特に、人と向き合う職業とされる看護師の養成課程では、学生の「コミュニケーション能力」の向上は必須の課題であるといえます。また同時に、最近の若者のコミュニケーション能力が低下している、という声もあります。しかし、「コミュニケーション能力」は、非常に曖昧で、個人の性格に帰するところも大きい、とらえどころのないものです。定義や目標も曖昧なままでは、それを向上させようとする教育も、漠然としてしまうでしょう。コミュニケーション能力を「本当に伸ばす」ためには、どのような教育があるのでしょうか。今特集では、そのために必要な理論づけと、実践的なプロの技術を紹介します。

- 教育機関として、コミュニケーション能力向上のためにできること……村中陽子
- コミュニケーション能力を伸ばす授業の組み立て……寺岡三左子
- 看護コミュニケーションを学問として教授するスキル……篠崎恵美子／藤井徹也
- 身体アウェアネスを育てる——身体関係論から見えてくること……山地弘起
- コミュニケーション能力向上のプロが語るコミュニケーション教育……平美和



Vol.56 No.3

2015 年 3 月  
特集

## コースポートフォリオで授業改善！

看護の臨床現場や教育現場で、ポートフォリオの活用は珍しくなくなりました。しかしそのほとんどが、実践者である看護師や学生がつくるラーニングポートフォリオで、教員自身の教育活動情報や根拠を記したティーチングポートフォリオや、教育に加えて研究やサービス活動まで記したアカデミックポートフォリオなどは、まだほとんど見られません。上記の3つのような、情報の整理と保管を中心とする教育実践者のポートフォリオは、個人の成長に役立つものではありませんが、今後教育の現場において、より取り入れていただきたいのは、科目の担当教員がその「デザイン」「実施」「学生の学び」について記述し、それらに振り返りを加えながら作成していき、情報を共有するコースポートフォリオです。

本特集では、コースポートフォリオとは何かという基礎的な知識から、教員個人に、そして学校全体にどのように役立つかを具体的にご紹介します。情報共有により、看護だけでなく専門以外の教育分野とのより深い協力体制構築の可能性も含むコースポートフォリオについて、興味をもっていただけることを期待します。

- コースポートフォリオとは その概要とねらい……酒井博之
- コースポートフォリオ作成で、高等教育機関での教育実践を記録し、共有し、改善しよう！……村井淳志
- 医療系カリキュラム改訂のためのコースポートフォリオの活用事例……平山朋子／西村敦／森田恵美子
- コースポートフォリオの今後の可能性……田口真奈
- 【対談】コースポートフォリオを共有し、看護教育現場をオープンにしよう……田畑典子／酒井博之



【2015 年 2 月号 (Vol.56 No.2)】

**IPE の達成とこれから  
「地域で学ぶ」を中心に**

【2014 年 11 月号 (Vol.55 No.11)】

**基礎と臨床がともに学ぶ場を  
つくる  
自治体が協力するケースを中心に**

【2015 年 1 月号 (Vol.56 No.1)】

**看護教員の教育力を UP する！**

【2014 年 10 月号 (Vol.55 No.10)】

**論文執筆のススメ  
実例から学ぶ良い論文の書き方**

【2014 年 12 月号 (Vol.55 No.12)】

**理想的な「入学前学習」を  
求めて**

【2014 年 9 月号 (Vol.55 No.9)】

**求める学生確保のための方策  
面接をめぐる課題を中心に**

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2013 年 3 月号 (Vol. 54, No. 3) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2013 年 4 月号 (Vol. 54, No. 4) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。